

強化戦略計画策定に向けた論点整理について  
(指導者育成委員会)

1. 今後の強化活動における目指す姿と目標設定について

(ア) 世界の強豪国との差が広がる中、我が国のローイングコミュニティは強化活動において何を指して(目指す姿)取り組むのか。

まずは、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる指導者や協会等関係者の育成。

(イ) 上記の目指す姿を実現するため、2028年ロサンゼルス大会ではどこに目標を定め、何の種目を強化するか。また各種目の優先順位をどう考えるか。

- オリンピック競技(クラシック・コースタル)
- パラリンピック競技(パラローイング)

当委員会へ勝利至上主義にもつながるような設問に疑問であるが、あえてコメントするなら、大陸枠ではなく世界選手権枠などでのオリ・パラ出場権の獲得や JOC 派遣であるアジア大会などでの評価対象される戦績を目標とし、どの種目とするのかを強化、パラ、コースタルの委員会で決め、日本の立場として IF やアジア連盟などへ戦略的に働きかけるのが企画戦略や国際部などの役割とするところではないのか。

(ウ) 設定した目標を踏まえ、強化活動を担うコーチ並びにマネジメント体制をどう考えるか。また体制整備において、優先すべきことや今後の課題についてどのように考えるか。

適切なスポーツ医科学の知識を有し、あらゆる反倫理的行為を行わない公認スポーツ指導者の存在は必須。

2. 選手の発掘・育成・強化の計画について

(ア) 2024強化総括では、行き過ぎた個の重視による弊害について指摘がなされたが、JARA の目指す姿や重点種目の特性を踏まえ、日本代表クルーの育成及び選考についてどのように考えるか。

荒川選手のコメントのとおり 1X、2X、2-あたりの種目を重点的に、選手の能力を高くしていくのは大事、そういった意味では SBS は必要。アスリートもプレーヤーズセンタードやスポーツ医科学の知識などに基づく、トレーニングプログラムの理解や実践が必要。

(イ) オリンピック競技では、ジュニア、U23、シニアの各カテゴリーのシームレスな育成・強化が不可欠である。ローイングにおける基本的な能力(漕力)を向上させるための育成プログラムはどうあるべきか。

① 我が国の現状と課題を踏まえたトレーニング・プログラムの改善・普及

基本となるプレーヤーズセンタードとワールドローイングトレーニングプログラムの理解を指導者講習会で行っていく。<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/coach/event/pdf/SJ56PlayersCentered.pdf>

② パフォーマンスの最大化、アッパーリミットの引き上げに向けた施策

オリ・パラごとに日本版 FTEM に JSC の支援も受けながら既に取組んでいるので、日本版 FTEM をプラットフォームに進める。JSC の支援もあるということは、公費が投入されているということで、説明責任も発生するため、別で育成プログラムをどうあるべきなど話すべきではない。

(ウ) パラリンピック競技に関しては、アスリートの発掘が最も重要な課題となるが、既存プログラム(J-STAR)に加え、都道府県協会や他の競技団体との連携の在り方をどう考えるか。

普及活動。部活度地域移行は養護学校も同様と考えると、PF と共にまずは指導者の有資格者の育成。

### 3. 選手強化に必要な環境整備について

(ア) ジュニア、U23、シニアの各カテゴリーのシームレスな育成・強化に向け、JARA が担う役割の範囲についてどう考えるか。また、選手の所属団体や指導者との連携をどう図っていくべきか。

JARA としては NF 主催大会義務付化により各チームへの公認スポーツ指導者配置を図る。養成講習会や義務研修、コーチカンファレンスなどにより、基本となるプレーヤーズセンタードとワールドローイングトレーニングプログラムなどの理解に対して、アップデートや所属との連携を図っていく。

(イ) 競技力強化のための日本式メソッド(トレーニング・プログラム、技術・戦術)の確立に向け、JARA 内にどのような体制を整備する必要があるか。

基本となるプレーヤーズセンタードとワールドローイングトレーニングプログラムを理解し、PDCA が実行できる体制の構築。

(ウ) 海の森水上競技場や戸田ボートコースの利用実態やニーズを踏まえ、トレーニング拠点(国内外)に求められる機能や設備。

プレーヤーズセンタードの考えでアスリートの意見に配慮すべきで、海の森を拠点化するならば、荒川選手、米川選手のような意見は当然想定

されるが、どう考えたのか。戸田を地域拠点としてもまず整備すべし。他地域は各クラブなどで連携を取りながら地域拠点化する。長野県での取り組みが良い。指導者育成としては、NF 主催大会義務付けにより、指導者のスキル向上に取り組んでいく。

(エ) その他

社員総会、大会運営など今ある活動の中でも指導者、アスリート、関係者の意見を直接聴く場が沢山ある。このよう場で直接うかがう意見と評価総括で記載されている意見にも相違があり、タスクフォース事務局のまとめ方には疑問がある。最近ガバナンスについて細淵さんが述べられるが、ガバナンスには説明責任以外にも心も含めた安全配慮など多岐にわたるが、タスクフォース事務局メンバー側がまず会社や指導者講習会などでも学ぶような基本的な部分を理解しているのか。